

学校だより



令和4年11月1日
 尼崎市立園田小学校
 校長 永所 孝章

ともに学ぶ

— 自分の考えをアップデート! —

HPへ ⇒



公開授業の様子

現学習指導要領の中のキーワードとして「主体的・対話的で深い学び」があります。これに向け、本校でも先生たちが授業づくりに励んでいます。10月は校内でたくさんの公開授業（国語・算数・理科・体育・食育・道徳）がありました。授業の中には、子どもたちが課題やめあてについて自分の気づいたことや思ったこと・考えたことをノートに書き留めたり、伝えたりする時間があります。みんなでひとつのことを考えているのに、子どもたちのノートに書かれている言葉や書き方は、本当に多様なものになっています。その多様な考えなどをクラス

の中で出し合いみんなで共有することで、事象の一般化につながったり、思いや考えを基に創造したりすることにつながると考えています。これは、自分の考えが深まりクラスの考えが深まっているからこそできることです。ひとりでは考えもつかなかったことが友だちの考えによって【わかる・深まる】につながります。私は授業の中の子どもたちの発言で、各教科の本質に向かいながらの、「〇〇さんの考えを聞いていて、考えが変わりました。」または「考えは同じだけど深まりました。」という言葉は、子どもたちが自分の考えをアップデートできている瞬間であると考えています。だからこそ教室の中で、授業を受ける価値があるのです。そして放課後には、先生たちも公開授業における教材の提示の仕方や発問、言葉かけ等について検討する時間を持ちます。子どもたちも先生も自分以外の多様な考えを自分の中にインプットし、再考していくことは自分の考えをアップデートすることにつながります。この過程はわれわれが成長していく上でとても大切であると考えています。今後も子どもたちの豊かな学びにつながるよう取り組んでいきます。

つながる6年と中学校 — 合唱コンクール見学 —

※ 感想はタブレット入力

6年 Nさん

2年生の『糸』は低い音程と高い音程が合わさって凄く綺麗に聞こえていて音が乱れることのない合唱だったのがすごいなと思いました。曲の縦の糸と横の糸をクラスに表してすごいいいなと思いました。3年生の『YELL』はすごく歌にいろいろな意味が込められているからこそ凄く綺麗な音色で音が合っていてすごいいいなと思いました。自分も見ている人たちにすごくなって思わせれるような合唱や合奏ができたらいいなと思いました。そのために自分に日頃から自信を持って頑張ります。



10月21日（金）に6年生の児童が、隣の園田中学校の合唱コンクールを鑑賞しに行きました。張りつめた空気の中に響く中学生の美しい歌声とクラスが一体となった合唱に

心を打たれたようです。また、中学生の凛とした姿に、気持ちが引き締まったようです。本校においても、もうすぐ音楽会があります。最高学年として素晴らしい歌声を響かせてくれることを期待しています。そして立派な中学生・先輩になってほしいです。

体育大会をペアと鑑賞して

《3年と5年の交流から》 ※お互いにタブレット入力・送信

3年生 Sさん

たいこをたたいている5年生とてもかっこよかったです。いどうのとき、みんなはやくはしって、そのばですぐダンスをおどっていました。そんなことは、ぼくら三年生はできません。五年生をすごくしんようしました。ぼくも5年生といっしょにおどりたいです。すごくかっこよかったです。

5年生 Kさん

バンドナを使って、踊っているのがかっこよかったです。周りタイミングがあっていてきれいでした。他の学年のを見ているときもすごく静かでびっくりしました。すごく楽しそうに、踊っていたし、楽しそうに戻ってきたのでこっちまで楽しくなってその後も楽しく踊れたのは3年生のおかげだなと思いました。踊り終わったあとには「かっこよかったよ」と言ってくれたので嬉しかったです。3年生が終わったあとに「きれいだったよ」と言いたかったけど「きれいだった」では足りないくらいとてもきれいでした。

今回の体育大会では、ペアと隣に一緒に座るまたは近くに座ることで、演技直後にお互い感じたことを伝えることができました。また、上記の感想は、子どもたちがタブレットを使ってペアに送ったものです。これらからわかることは【あんなふうになりたいな】や【わたしたちもがんばろう】といった前向きな気持ちです。子どもたち同士の関わりが心の成長につながれば嬉しいです。



校内で見つけた素敵な学び

学びの1シーン① — ドングリ —



9月27日、いつものように北門で子どもたちを迎えていると、1年生の児童が「先生、ドングリ見つけた(左写真)。」と持って来ました。私は、「よく見つけたね。このドングリの名前知ってる?」と聞きました。1年生の児童は「?」でした。そこで私は、「これはたぶんマテバシっていうドングリだと思うよ。」

「ドングリのできる木はたくさんあるから、また調べてごらん。学校にも何種類かあるからね。」と伝えました。また、別の日、この前とは違う児童がドングリを持って来ました(右写真)。子どもたちは登下校中にも身近にある自然にはたらきかけているんだなあと感心しました。秋です。



学びの1シーン② — ダンゴムシ —



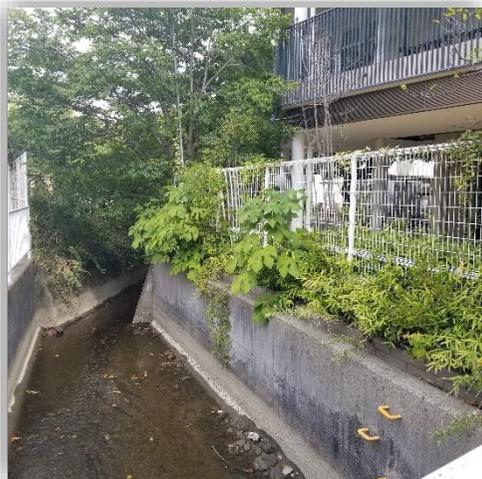
10月6日の朝、3年児童が手に「校長先生、ダンゴムシ見つけた!」と大事そうに持って来ました。子どもたちにとっては、好奇心をくすぐる生きものなのでしょう。動いているところを触れば丸くなる。観察しがいがあります。私は、夏休みの研修で王子動物園に行ったことを思い出しました。

館長補佐である戸田先生のお話の中に、ダンゴムシの賢い動きがありました。小さな箱に迷路のような通路を作ります。【そこにダンゴムシを入れるとどうなるか】というものでした。先生はその場で試してくれました。ダンゴムシを迷路の中に入れると、まっすぐ進んで突きあたりをはじめは右に曲がったとします。そうすると次の突きあたりは左。その次は右という風に進んでいくのだそうです(右→右→右→右だともとに戻りますね。)。ダンゴムシは敵から身を守るための動きをわかっているそうです。これらのことから、興味を持ってじっくりと観察することの大切さを学びました。低学年の児童の身近な発見にはいつも驚かされると同時に楽しみでもあります。

ぶらっと そのだ ②

高須賀先生による 校区の歴史探訪

「三平伝説（その1）一学校の中庭に川が流れている？」



中庭を流れている用水路

園田小学校の正門から中庭にかけて小さな川が流れている。この川を北上すると藻川に、南下すると丸橋公園近くを通っている。藻川の合流点には大井組（おおゆぐみ）取水口、丸橋公園入り口には、青い水門と大井組石碑が立っている。

井（ゆ）とは、川から田んぼへ水を引き入れる用水路、または、取り入れ口のこと、その井から水を引いている村々を井組（ゆぐみ）とよんでいた。

天正17年（1589年）大井組は三平井の下手、猪名川と藻川の分岐点から少し下流の藻川西岸に取水口を造り、田中・瓦宮・若王寺・小中島・下坂部・長洲・難波 他17か村で組織した大きな井組であった。当時、石碑にも記されているが、全国至るところで水争いが絶えなかった。お百姓さんたちにとって米

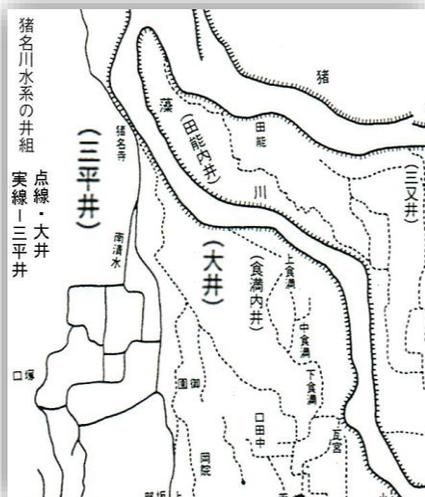
は年貢であり、水が引けなければ死活問題となるからである。



↑ 丸橋公園近くの大井組石碑と水門



↑ 今は仲良く並んでいる大井組（左）と三平井組（右）の取水口



実線 — 三平井 点線・・・大井

— つづく —

連合体育大会の結果 —ベイコム陸上競技場10月12日—

市内の小学6年生（代表）が集まり陸上競技【400mリレー・40mハードル走・走り幅跳び・ソフトボール投げ】がありました。今年は園田中学校の先輩たちの力も借りて、自分のベストが出せるように頑張りました。

【男女混合400mリレー】

A チーム（森 将大・林田 心海・土田 奏人・松風 海莉）・・・59.3（市内第7位）

B チーム（佐和田 成・反頭 蘭音・川口 楓太・河津 優亜）・・・61.9

【40mハードル走】

藤原 暖斗・・・6.94（市内第1位） 西尾 元輝・・・7.38



山口 咲希・・・8.46 弓指 瑠奈・・・8.50

【走り幅跳び】

山田 蔵人・・・4m07cm(市内第3位) 船曳 愛絆・・・3m46cm

松本 楓・・・2m90cm 長野 くるみ・・・2m40cm

【ソフトボール投げ】

堀口 瑛太郎・・・27m 増田 晃喜・・・41m

馬場 希・・・28m 坂口 翠・・・38m(市内第7位)



初めての場所で緊張もしたと思いますが、堂々と競技できていました。立派な園田の6年生です。あっぱれ!

11月の行事予定

日	曜	行 事 予 定			
1	火	朝会、3年自転車教室	21	月	クラブ、読書週間(27日まで)
4	金	委員会、月曜時間割	24	木	お話配達
8	火	音読朝会	25	金	お話配達、5年自然体験学習予備日
11	金	150周年記念音楽会(児童鑑賞日)			短縮時間割
12	土	150周年記念音楽会(保護者賞日)	28	月	クラブ
14	月	代休日			教育相談週間(2日まで)
16	水	4年市の音楽会	29	火	5校時後下校
18	金	5年自然体験学習(田能遺跡)	30	水	1年遠足(キッズプラザ)

※毎週月曜日は定時退勤日となっています。ご理解ご協力をお願い致します。

玄関がとっても華やかになりました!!!



玄関に生け花が現れました。子どもたちの登下校を見守っていたら、『見守りネット』の発起人である堀江一郎さんのご家族(堀江祐一さん・沙緒理さん)です。今年度、学校の玄関のリノベーションに合わせ、学校の子どものために月に一度生け花をして下さることになりました。この生け花を通じて、日本の伝統文化・生花の変化など子どもたちそれぞれの感性に響けばと思っています。ご来校された際はぜひお立ち寄りいただき、ご鑑賞いただけたらと思います。

【学校からの手紙について】

子どもたちに向き合う時間を増やすため、2学期より、学校通信や学年だよりなど学校からの手紙を公開ドライブにて見いただくようにしています(職員室前に紙も用意しています)。お知らせがある際には、保護者用クラスルームにて連絡をします。日々、見ていただけますようお願いいたします。警報等の対応など緊急のお知らせにつきましては、今まで通り、ミマモルメの一斉メールをいたします。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本校の音楽会のテーマは、「豊かなひびき、豊かな心」です。各学年が、歌唱・リコーダー奏・合奏を通して、体育館中に美しいハーモニーを響かせます。

最初は目の前にある楽譜を演奏するのも難しかった子どもたちですが、音楽会へ向けて一生懸命練習を重ね、日に日に成長していく姿を見て、私たちも同じ熱量で向き合い、本番を迎えられたらと思いながら過ごしています。(音楽：小野・藤原)